

健康と食育に適う素材 「大麦」は地球を救う

おもてなし経営のポイント

- ❖ 地元・栃木県産の大麦を使用した菓子製造で地域貢献
- ❖ 社員・顧客・地域、三者での経営理念の浸透



経営理念と企業文化

地元栃木の産物である 大麦を全国へ広める

株式会社大麦工房ロアは、地元・栃木産の大麦を使用し、ダクワーズをはじめとして100種類以上の菓子・食品を製造している。栃木は国内有数の大麦生産地である。代表取締役社長の浅沼誠司氏は、秋まき麦が初夏に色づき、畑一面が黄金色に輝く麦秋の風景を見ながら育った。大麦はビールや焼酎の材料として使われ、

直接、食されてこなかったが、コレステロールを下げる働きや、食物繊維が白米の20倍あること、アレルギー指定原材料がないなど、多くの魅力がある。また、地元の大麦農家を応援したいという思いもあり、「大麦を使用したお菓子を製造できないか」と奮闘してきた。やがて、同社のダクワーズは評判になり、1998年に年間500キロだった地元農家からの大麦購入が、現在では250トンまでに成長した。事業拡大に合わせ、地元の高校生も積極的に採用している。大麦食品の市場拡大は、大手製造業の工場

閉鎖によって縮小する地域雇用の希望となっている。浅沼氏は「大麦は知れば知るほど、健康や食育にとって素晴らしい素材。広めることによって地球を救うことができる」と語る。

同社は経営理念を常に意識し、日々の業務に取り組んでいる。「社員への理念浸透は当然の仕事であり、顧客や地域にも当社の理念が広がってはじめて、理念経営の実現に近づく」と浅沼氏は考える。社員に給与明細を渡す際には、社長からのメッセージを同封し、そこには、普段の業務がどのように経営理念につなが

るかなどを伝えている。また、通信販売のカタログには、大麦を活用するようになった背景や、大麦の知識などを記載し、顧客に対する理念伝達にも余念がない。

経営理念を絵本にした『大麦は地球を救う』を地域の学校や図書館に寄贈することで、啓蒙活動も行っている。環境意識の醸成や食育で地域に貢献したいとの思いがあるのだ。社員も、絵本のコピーをいつも携帯している。「毎月の社長からのメッセージにも経営理念の記載があり、理念を目にする機会が多くありますが、これは絵本なのでより分かりやすく、後輩に教えるにも使いやすい」と、ある社員は話していた。

地域・社会との関わり

顧客と生産者とのふれあい 「麦秋ウォーキング」

地域ぐるみで大麦の開発・製造・販売・マーケティングを行なう同社。最も大きなイベントが「麦秋ウォーキング」だ。2012年度で10周年を迎え、今では300人の定員がすぐに満員となる人気イベントとなった。大麦を収穫する5月に行なわれる。畑を一緒に歩きながら、生産者が参加者に農業の大切さ、大麦の素晴らしさを語るもので、社員、顧客、地域の結びつきを強める機会となっている。とれたてのトマトやキュウリの試食、地元大麦の麦茶の試飲もあり、穀物倉庫の中では地元音楽家によるフルートなどの演奏会も開催される。麦秋の美しさも相まって、顧客拡大につながっている。さらに理念を伝えようと、「栃木

の大麦食品を広める会」も設立した。設立総会には、栃木県内の農業関連、食品関連の企業など50以上の団体・企業が参加。同社の経営理念が栃木県内で共有され、全国へ広める活動が進んでいるのである。

「栃木県産の大麦を使用した製品が全国へ進出していくことで、当社の成長だけでなく、地元農家の繁栄にもつながる。これが社員みんなのやりがいです」と浅沼氏は熱く語った。

写真【1】：大麦農家の人々との信頼関係があるからこそ、大麦ダクワーズを中心とした洋菓子を、安心価格で提供することが可能だ。
写真【2】【3】：直営店は地元栃木県の足利市に2店舗。店舗販売、工場直販ともに、おいしさを全国に届けようと、にスタッフ一同取り組んでいる(画像は朝倉総本店)。
写真【4】：お菓子だけでなく、大麦の健康食品から化粧品まで、大麦を素材にした多様な商品を開発・提供する。
写真【5】：お浅沼氏による絵本「大麦は地球を救う」。大麦の特性や可能性を簡単に分かりやすく書いている。
写真【6】：一定の低温で保存可能な「菓子用大麦」専用の倉庫。衛生面でも品質管理を徹底している。
写真【7】：「詰め合わせセットに健康系のスイーツや食品を入れてほしい」というリクエストなど、顧客から届く声に、経験豊富なスタッフが親身に対応している。



会社概要

- ・法人名：株式会社大麦工房ロア
- ・代表者：浅沼 誠司 代表取締役社長
- ・所在地：栃木県足利市大月町3-1
- ・設立年月：1986年6月創業

- ・事業内容：大麦を使用した菓子・食品の製造・販売
- ・社員数：正規80名、パート・アルバイトなど181名
- ・ホームページ：<http://www.oomugi.jp/>